

平成 21 年 9 月 28 日

各 位

軟弱地盤研究会（第 64 回）のご案内

軟弱地盤研究会  
会長 三浦哲彦

日 時：平成 21 年 10 月 16 日（金） 14 時～16 時

場 所：建設業協会佐賀、2 階会議室 佐賀市兵庫南 2-13-15 電話 0952-24-2711

話 題：『新スウェーデン式サウンディングによる佐賀平野沖積層の調査事例～従来法との比較』

講 演 者：東京都市大学工学部 田中 剛 氏  
株式会社日本住宅保証検査機構(JIO) 大和 真一 氏

講師から下記の概要をいただきましたのでご案内します。

我が国で「地盤調査」や「ボーリング」といえば、一般に標準貫入試験です。一方、戸建て住宅などの小建築や調査本数が多い場合は、ボーリングよりも簡易で安価なスウェーデン式サウンディング試験（以下、SWS 試験という）が多く使われています。しかし、SWS 試験は土質サンプリングを行わないので、土質判定ができないという欠点を有しています。そこで SWS 試験機を改良して SPT 並みの精度でサンプリングすることなく土質判定できる技術の開発に挑戦し、この度完成しましたので佐賀平野での測定例をご紹介します。

佐賀平野は有明海に隣接した我が国の代表的な沖積層です。一般に沖積層と言えば平坦で、地層は均質と思われています。しかし、佐賀平野では必ずしもこれが当てはまりません。これはかつて水田だった場所に多数の水路が網の目条に発達しており、水路の有無で下層地盤は複雑に違っているからです。更に旧水路が隠れていて地表から見えないことが問題を複雑にしています。

ボーリングを多数実施すればこの複雑さは解明できます。しかし、高価なので簡易な SWS 試験法に頼ることが多くなりますが容易に判断できません。今回ご説明する SWS 法を改良した本件の新 SWS 法は、ロッドの載荷荷重のみならず、ロッドの回転トルクや沈下量の 3 成分を測定します。この 3 成分を解析することによって土質判定や地盤の強度などをボーリング並みの精度で知ることができる方法です。

この新 SWS 法のメカニズムを先ず説明して、佐賀平野の沖積層の複雑さを新 SWS 法によって解明した例をボーリングや従来の SWS 法と比較してご紹介します。

※参加希望の方は必ず事前にメールまたは FAX でご連絡ください。当日の申込みはできるだけご遠慮下さい。

※参加費：当研究会の個人会員および特別会員は参加費無料。それ以外の方は資料代（¥1,000）が必要です。

※参加証明書について：参加証明書は研究会終了後に受付にて必要な方に配布します。

=====  
研究会担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: jimukyoku@sunny.ocn.ne.jp

Tel:0952-41-8840/Fax:0952-41-8373

Address:〒840-0811 佐賀市大財 4 丁目 1 番 52 号

軟弱地盤研究会事務局

=====